

## ◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2025年4月15日第172号—

※Xアカウント #チェンジ川崎

### <目次>

●ぜん息患者医療費助成制度の創設を求めて、日産本社へ要請行動

◆2025年2月、鷺沼駅前地区再開発事業組合設立に際して

▲お知らせコーナー

- ① 4/26 ゆめシネマ「戦雲-いくさふむ-
- ② 5/1 川崎メーデー
- ③ 5/25「公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」

★編集後記

●ぜん息患者医療費助成制度の創設を求めて、日産本社へ要請行動

日産は大気汚染公害の責任をとれ！日産はぜん息患者医療救済制度の創設に協力しろ！

3月10日(月)、早春の横浜駅東口にある日産(株)本社前に力強いシュプレヒコールが響きました。

今回で6度目の行動です。

神奈川、東京、千葉、愛知、大阪のぜん息患者158人が申請人となって国と自動車会社(7社)を相手に「ぜん息患者医療費助成制度」の創設を求めて、公害等調整委員会へ訴えています。

その審理が昨年12月に終了し、今年1月から「職権による調停」が行われています。

この調停を成功させ、医療費助成制度を実現するには国と自動車会社を動かす大きな国民世論が必要です。

自動車排出ガスによってぜん息になる危険に市民は誰もが置かれています。

国は財界の圧力によって「公害は終わった」として全国41箇所の公害指定地域を解除。新規の認定を打ち切り(1988年)。東京都も「都条例」を改悪して「無料化」をやめ、川崎市は2023年6月議会で「成人ぜん息患者医療費助成制度」(1割負担)と「小児ぜん息患者医療費支給制度」の(無料)を廃止してしまいました。

この時、福田市長はパブリックコメントを実施。

その結果は、「廃止に反対」は99.9%でしたが「賛否を問うものではない」とこれを切り捨てました。

地方自治体の目的は「住民福祉の向上」です  
(地方自治法)。今、地方自治体の「在り方」が問われています。

今秋は市長選挙です。

昼間忠男(川崎公害根絶、環境再生をめざす市民連絡会)

## ◆2025年2月、鷺沼駅前地区再開発事業組合設立に際して

コロナ危機を経て、当初計画から7年目、2025年2月ようやく鷺沼駅前地区再開発事業組合は設立されましたが、駅前街区の供用予定は2032年、北街区は2036年頃(未定)です。

今後7年から10年は、駅改札と直結する狭い鷺沼駅前工事と工事車両の往来で住民生活の安心・安全と利便性が心配されます。

1977年の東急田園都市線開通は、東急自身が述べているように、産業革命で発展したロンドンの環境悪化を改善するエベネザー・ハーワードの都市構想・田園都市構想に由来しています。

その当時から住み始めた住民も50年たって、孫の世代に移っている家庭も出てき始めました。

今や田園都市線沿線の住民生活と文化は長い年月をかけて、住民自身が作り出したものです。それを初期開発者の東急だからと勝手に都市計画を変更する権利はありません。

ましてや、川崎市という行政が東急の言いなりに鷺沼駅前再開発を進めることは問題が多すぎます。

再開発事業は本来、雑多な土地、建物を整理して道路拡張、公園、公共施設をつくるのが目的です。

鷺沼駅前場合は、94%が東急の所有地で、そこに、JA・横浜銀行と東急子会社2社を登記して、再開発の最低条件5者にした名ばかりの再開発事業です。

これは、開発の目玉に区役所、市民館、図書館を移転して、タワーマンション2棟を売り出す、東急独自の事業です。

そこから、区役所移転の理由が曖昧、駅前道路が狭くて計画の4車線は無理ではないか、交通広場の計画でバス便は増便できるのか、都市計画と称して市道鷺沼線を開発組合に売ってしまう、工事期間は変更のたびに延長される、建築費高騰でどこまで川崎市の補助金が出ていくのか、など問題が山積です。

建設費は当初の500億円から880億円に、川崎市の補助金も150億円から218億円に、さらに

川崎市内の東急絡みの開発事数か所と結んで「立地適正化計画」という補助金かさ上げも検討されています。

今からでも地元住民との話し合い、協議を開始すべきです。

鷺沼駅前再開発は東急独自の開発ですが、住民は否応なく鷺沼駅と駅前を利用します。

今後10年以上、住民を無視して進める工事は受け入れられません。

川崎市のワークショップのような結論ありきではなく、現在の区役所、市民館、図書館を存続させる必要と鷺沼駅前再開発に関して、住民の意見を聞く話合いの場を積み重ね、意見が生かされる必要があります。重ねて住民との対話を求めます。

現区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会(略称:宮前区を考える会)HPより転載

## ★お知らせコーナー

### ①ゆめシネマ「戦雲-いくさふむ-」

三上智恵監督最新作:「国防」最前線

[公式サイト](#)

4/26(土)①9時②12時③15時④18時

申し込み

044-433-3003 ゆめホール

[cinema@kawasakiyume.com](mailto:cinema@kawasakiyume.com)

[詳しくはこちら](#)

### ②川崎メーデー

5/1(木)

中原平和公園 野外音楽堂

集会:午前9時40分開場 10時00分開会

デモ行進(中原平和公園->武蔵小杉駅)

12時20分出発予定

[詳しくはこちら](#)

### ③第66回川崎母親大会

5月24日(土)10時～16時10分

多摩市民館

午前10時～7つの分科会

午後13時10分～全体会 講演 武本匡弘さん

「地球の未来を守るため、いまできること」

資料代 800円 高校生まで無料

#### ④ 第30回「公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」

5/25(日)

11時～15時

JR溝口駅前ペDESTリアンデッキ

-どうする私たちの川崎-

- ・大規模開発と緑の保全
- ・気候変動と水害対策
- ・健康と介護
- ・給食無料化と先生不足

主催:「公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」実行委員会

044-211-0391(川崎公害病患者と家族の会内)

[詳しくはこちら](#)

### △読者からの声

#### [171号・南武線ワンマン化の記事を読んで]

私もワンマン体制には強い疑問を感じています。

緊急時の初動対応から運行再開には相当な時間とトラブルがある。

運転手1人では対応できませんよ。

人身事故や車との接触事故発生時には事故や運輸指令、そして乗客の対応は1人では無理でしょう。

乗客と運転手や会社はかなり大きなクレームトラブルになりますね。

(鉄道関係者)

### ★編集後記

先週のNHK1984年放送のアンコール放送「桜紀行～名金線:もう一つの旅～」を興味深く観ました。

名金線という名古屋から金沢までのバス路線の沿線に、12年の歳月をかけ、2000本の桜を植樹した国鉄バスの車掌、佐藤良二さんの生き様を追う感動的なドキュメントでした。

実は、私、昨日まで東北の桜ツアーに参加してきたのですが、養蚕から花き栽培業に切り替えた初代園主が、私財と労力を投じて作り上げてきた花見山公園の歴史に触れ、「桜」への熱い思いに胸を打たれました。

初代の夢を今、四代目が引き継ぎ、「花見山はまだ作っている段階」という二代目の言葉を励みに精進しています。

桜はその散り際の潔さを強調されて、かつて軍国主義の滅私奉公、戦場で潔く命を差し出す象徴として利用されました。

そのことは記憶に刻みつつ、純粋にその美しさをめで、楽しみたいものです。

三春の滝桜、花見山公園の桜、梅、こぶし、菜の花は満開で、美しさを堪能してきましたが、日中線しだれ桜並木は咲き始め、会津線湯野上温泉駅の桜は、まだつぼみで残念。

あと見頃まで一週間はかかりそう。いつかまた訪れたい。

桜を愛する市民の純粋な気持ちを踏みにじる、効率優先の川崎市長。

桜を中心に800本もの樹木を伐採する等々力緑地の再開発は許せません。

今年の市長選挙は、桜を愛する市民の意思表示の場にしましょう。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆